



うみ みず あめ ふ
海の水はなぜ雨が降ってもあふれないの

うみ みず じょうはつ
海から水が蒸発している

みず すいじょうき か くうきちゅう で みず じょうはつ みず どスィー
水は水蒸気になると、空気中に出ていきます。これを水の蒸発といい、水が100
にならなくても、たえず水蒸気になっています。

ちきゅうぜんたい ねんかん やく まんりっぽう ちきゅう やく あつ
地球全体から、1年間に約38万立方キロメートル(地球を約80センチメートルの厚さ
でうめつくす水の量)の水が蒸発しています。そのうち、海からは、約75パーセントの
水が蒸発するといわれています。

じょうはつ みず じょうはつ
蒸発した水はもどってくるが、また、蒸発する

うみ りく じょうはつ くうきちゅう すいじょうき じょうくう あ くも あめ ゆき
海や陸から蒸発した空気中の水蒸気は、上空に上がって雲をつくり、雨や雪となって
りくち うみ にもどってきます。雨や雪となって降った水の一部は、地下水になったり、川や海
に流れこみます。しかし、また、りくち うみ から みず じょうはつ
陸地や海から水が蒸発します。

ちきゅうぜんたい ねんかん じょうはつ みず りょう ねんかん ふ あめ ゆき りょう おな
地球全体の1年間に蒸発する水の量は、1年間に降る雨や雪の量とだいたい同じぐら
いです。このように、みず すがた か りくち うみ そら あいだ
水は、姿を変えながら陸地や海と空の間をめぐっています。このた
めに、うみ みず
海の水はあふれないのです。(監修・国司 真)

